

令和5（2023）年度

栄南中だより

札幌市立栄南中学校

<https://www.sakaeminami-j.sapporo-c.ed.jp/>

卒業式特別号(2024.3.15)

第47回卒業証書授与式

【令和5年度 卒業証書授与式 式辞～他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる～】

さて、思い起こせば、皆さんがこの栄南中学校に入学した3年前は、新型コロナウイルス感染症が世界的な広がりを見せ、入学式は在校生も参加できず大変寂しいものでしたが、昨年5月に扱いても5類感染症へと変わり、学校生活において制限がかかっていた多くの活動・学校行事が可能となり、4年ぶりに合唱祭が開催されて、全校生徒の歌声が体育館に響きわたりました。

その中で皆さん3年生は、皆さん自身が初めての合唱祭でどのように取り組めばいいのかもわからず、たいへん不安だったことと思いますが、短い練習期間の中で、指揮者や伴奏者、パートリーダーを中心に、この合唱をよりよくしていこうと学級の仲間と協力し合い、本番ではどの学級も素晴らしい合唱を歌うことができました。皆さんは様々な学校行事を通して、仲間と笑顔で楽しむことのすばらしさや、学年・学級が団結した時の力強さを、後輩たちに教えてくれました。栄南中学校の最上級生として、大変立派な姿でした。

この3年間、コロナの影響で学校生活が大きく制約された中で、皆さん一人一人が本当によく努力して、個人としても3学年の仲間としても大きく成長できたことを、大変嬉しく思っています。

カナダの精神科医であるエリック・バーンの言葉で、「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」という名言があります。


「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」

皆さんがこれから巣立っていく今の社会は、急速な変化でグローバル化が進み、将来を予測することがますます難しくなっており、その変化に対応するために、私たちには様々な努力が求められています。

過去や周りの人々を変えることはできなくても、これから皆さんは、気持ちのモチようや努力で自分自身を大きく成長させることができ、それによって皆さんの未来も大きく変えることができるのです。決してお世辞ではありません。皆さんには無限の可能性があるので。

「自分は何がしたいのか」自分自身としっかり向き合い、「ネガティブからポジティブへ」考え方（思考）を変え、目の前の自分のやるべきことに全力を尽くしてください。時には努力しても失敗することがありますが、1学期にオリンピックの鈴木さんの講演を全校生徒で聞いたことを思い出してください。鈴木さんは「夢を叶えるチャンスは誰にでも平等にあるので、決してあきらめないでほしい。チャレンジする気持ちが大事で、最初からあきらめてはいけない」と話してくれました。「失敗は挑戦した人しか味わうことができない『貴重な経験』なので、失敗することを恐れないでほしい」「失敗を恐れてチャレンジしない人は、全てに対してチャレンジできない人になってしまう」「失敗は夢の実現に向けての階段で、失敗が多ければ多いほど、高いところへ上がることができる」と語ってくれました。大切なのは結果だけではなく、自分の成長を自ら実感し、少しずつ「自分が好きな自分」「自分がなりたい自分」に近づいていくことかもしれません。これからの皆さんの成長と活躍を、心から楽しみにしています…

令和6年3月15日 札幌市立栄南中学校 校長 小林 直人



厳しい寒さも和らぎ、日差しの中に春の暖かさを感じる季節となりました。新しい生命が芽吹く春。そんな季節に私達3年生はそれぞれの未来へと旅立ちます。

3年前の春、真新しい制服を身にまとい、期待と不安を抱えながら迎えた入学式。新しく出会った仲間や先生と顔を合わせたあの瞬間から私達の中学校生活が始まりました。

3年間を共にした仲間達との思い出は、どれもこの場では語り尽くせないほど深く印象に残るものとなりました。特に学校行事はみなさんの記憶にも印象深く残っているのではないのでしょうか。

コロナ禍の中始まった私達の中学校生活でしたが、工夫を凝らしてくださった先生方のおかげで様々な学校行事を行うことができました。形を変えながらも毎年行うことができた学校祭にはたくさんの思い出が詰まっていることでしょう。

毎年違う形で実施された学校祭は前例がなく、自分達で一から作り上げていくものとなり、困難に直面することも多くありました。ですが、仲間と意見を交わし、作り上げてきたものはどれも素敵な作品となりました。個性を生かした発表は新たな一面を見つけるきっかけになり、装飾はどの作品からも強い思いを感じられる素晴らしいものばかりで、学校をさらに明るくしてくれました。始めから終わりまで笑顔で溢れる素敵な学校祭となりました。

最初で最後となった合唱祭も皆さんの記憶に鮮明に残っていることでしょう。約4年間実施されていなかった合唱コンクールでしたが、今年度は合唱祭という形で開催することができました。行事に向けて全員が団結することは難しく、仲間とぶつかることもありましたが、指揮者や伴奏者、パートリーダーを中心に練習を重ねつくりあげた合唱は心に響くものとなりました。3年生にとって最後の行事となった合唱祭は、今まで以上にお互いのことを考え、学級がさらに一つとなるきっかけとなったのではないのでしょうか。

そんな思い出深い3年間を共にした仲間達との生活は、この卒業式をもって終わりを迎えます。しかし、まだ【卒業】という実感がわきません。また明日もいつものように登校し、授業を受け、友と他愛のない話をし、美味しい給食を食べ、放課後には笑い合う、そんな日々がこれからも続いていくような気がしてなりません。移りゆく景色が私達を卒業へと急かしていますが、友と過ごした日々は確かに私の心に刻まれています。


在校生の皆さん、この日のために素敵な装飾をありがとう。次に学校を作っていくのは在校生の皆さんです。きっと卒業までまだまだ時間があると思っていることでしょう。ですが、中学校で送る3年間は驚くほどあっという間です。ですので、毎日の一つ一つの出来事を記憶に残し、残りの中学校生活を全力で楽しんでください。

そして、ここまで来ることができたのは多くの人達の支えがあったからです。時に優しく、時に厳しく私達を指導してくださった先生方、3年間本当にありがとうございました。先生方から教わったことをこれからも人生に役立てていきます。そして私達の健康や身の回りのことを細やかに考えてくださった用務員さんや調理員さん、職員の方々、ありがとうございました。

お父さん、お母さん、いつも私達の一番近くで支えてくれてありがとうございます。これからたくさん迷惑をかけてしまうと思いますが、優しくそばで見守っててください。

これから私達はそれぞれの未来に向かって別々の道を歩んでいきます。今後大きな困難にぶつかったとしてもこの栄南中学校で得た多くの学び、経験、そして思い出を力に変え、力強く生きていきます。最後になりましたが、これまでお世話になった全ての方に御礼申し上げるとともに、栄南中学校の一層の発展を願い答辞とさせていただきます。

令和6年3月15日 卒業生代表 石田 梓月



今年は冬の寒さが一段と厳しかったせいでしょうか、この別れの日の春の日差しが、いつもにも増して柔らかく優しく感じられます。本日、晴れてこの栄南中学校卒業式を迎えられた第47期の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表し、心よりお祝い申し上げます。

今、皆さんはそれぞれの中学校生活をどのように振り返っていらっしゃるでしょうか。私たち在校生も、先輩方と過ごしたかけがえのない日々が次々と思い出されます。

4月の入学式。不安と期待の気持ちでいっぱいだった私たちを温かく迎えてくださりました。あの日から、先輩方は私たちの憧れの存在であり、目標でした。

7月の陸上競技大会では、仲間を応援する声や、労いの言葉が競技場に溢れ、クラスで団結している先輩方の笑顔がより一層はじけていました。

9月の学校祭では、それぞれの個性を生かした装飾と発表で盛り上げてくださりました。昨年より、規模が大きくなり戻ってきた学校祭。初めての企画や進行で、私は上手くいくのかどうか不安に思っていました。しかし、いざ幕を開けた学校祭では予想以上の盛り上がりを見せました。学校祭がこれほど盛り上がったのは、先輩方の結束力や準備、一人一人が楽しもうという強い気持ちがあったからだと思います。私たちはそんな先輩方の姿から、最上級生としての在るべき姿や根気強く努力する大切さを学びました。

10月の合唱祭では、初めてだということを感じさせない、美しく、そして力強い歌声に心打たれました。また、中には感泣する生徒もおり、人の心を動かす合唱を創るには、強い絆と心をこめて歌うことの積み重ねが大切なのだと学びました。

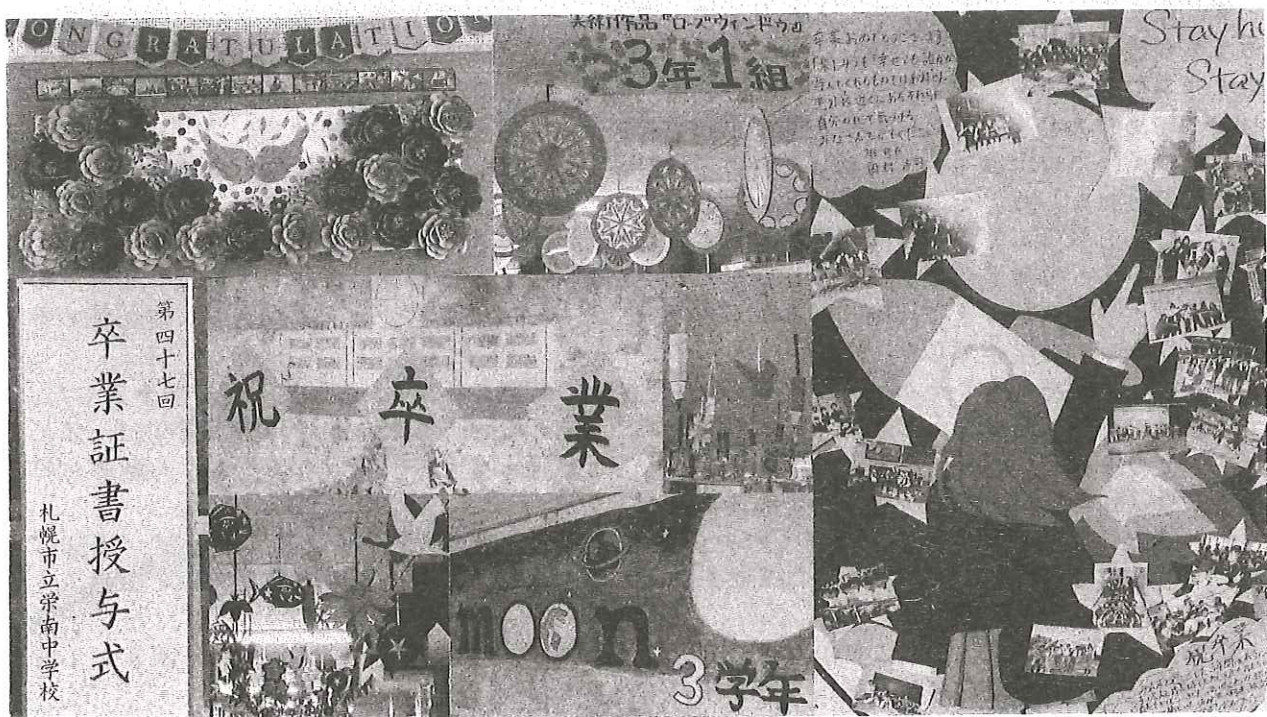
日常の生徒会活動では、困ったことがあったときに、いつも優しく助けてくださりました。その中でも私が一番忘れられないことは学校祭です。夏休みから練習を始め、放課後の限りある時間の中、先輩方と活動したことや、前日の夜までこだわり続け、本番での皆さんの笑い声や歓声を聞いたときの感動は、今でも胸に残っています。

部活動では、入学当初から笑顔で話しかけてくださったり、時に厳しく私たちを導いてくださりました。先輩方から教わったことを生かして、次は私たちが後輩を中体連や中文連へと導いていきたいです。

今まで私たち在校生は、先輩方の大きい背中を追いかけることで精一杯でしたが、これからは私たちがその背中を後輩に見せていきます。どの思い出にも頼もしく、輝いている先輩方と過ごした時間は私たちの宝物です。私は、これからも先輩方と共に過ごしていきたいですが、それはもう叶いません。先輩方から受け継いだすきをかけ、次の代へと確実に繋げていきます。

最後になりましたが、卒業される皆様の健康とこれからの活躍を心からお祈り申し上げ、送辞とさせていただきます。

令和6年3月15日 在校生代表 佐藤 みひろ



式次第

- | | |
|-----------|------------|
| 1 開式のことば | 8 PTA記念品贈呈 |
| 2 国歌斉唱 | 9 祝電・祝文披露 |
| 3 校歌合唱 | 10 在校生送辞 |
| 4 学事報告 | 11 卒業生答辞 |
| 5 卒業証書授与 | 12 在校生合唱 |
| 6 学校長式辞 | 13 卒業生合唱 |
| 7 PTA会長祝辞 | 14 閉式のことば |

校歌

作詞 唐原 正富
作曲 上元 芳男

北国に
春は訪れ
先人の願いここに生き
豊かなる石狩の野に
新しき力みなぎる
ひらけゆく
みどりの札幌
清らかな豊平の水
たゆみなく海に注ぎて
若人の夢はふくらむ
山脈は
われらを見まもり
父母の思いも深き
学舎に自主の意気高く
知性を磨き友と励まん
あゝわが母校
栄南中学校

夢に向かって自分を導け～3学年より～

皆さんが入学してきた3年前はまだコロナの罹患者数に一喜一憂していた時期で、学校生活も大きな影響を受けていました。その時期に卒業した3年生は、一般の教室ではソーシャルディスタンスが保てないので、各階の多目的室と1階の格技室に分散して過ごしていたのです。皆さんが入学して以降の3年間で、そんなコロナの呪縛から解放され、少しずつ日常の学校生活を取り戻すことができました。

学校祭を振り返るとそれが良くわかります。皆さんが1年の時は個人発表、2年の時は学級単位での発表、そして3年では学年の枠を越えた部門での発表でした。良い方にとらえれば、3つのタイプの学校祭を経験できたこととなります。合唱コンクールも合唱祭の形で今年度復活しました。初めての合唱だったにも関わらず、皆さんの歌声に感動させられました。

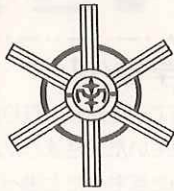
とは言え、コロナは完全に終息したわけではなく、旅行的行事は中止、延期、場所変更の判断を毎年迫られました。その度にドキドキさせられましたが、全て無事に実施できたことはラッキーでした。もちろんどの旅行的行事でもたくさんの思い出を作ることができました。

考えてみると毎年違うことにチャレンジしてきたわけですが、皆さんは新しい課題を一つ一つクリアし、やり遂げてきました。何事にも前向きに取り組める素直さと、臨機応変な対応ができた柔軟さをもった学年でした。

そういう集団だからこそ、我々教師の側からも様々な提案をし、皆さんに投げかけてきました。そしていつも期待通り答えを返してくれました。この3年間で一人が学年の重要なピースとなり、その中からリーダーが育ち、学年として大きく成長しました。我々も皆さんから教えられたり、吸収したりしたことがたくさんありました。

それは、これまで皆さんを支えてくれた保護者や地域の方々のおかげでもあります。周囲の方々への感謝の気持ちを忘れてはいけません。これからもたくさんの人との関りの中で生きていくのです。

義務教育は終了しました。これからは、自分で進む道を切り拓いていくこととなりますが、皆さんのこれからの活躍を心から願っています。



令和5(2023)年度

栄南中だより

札幌市立栄南中学校

<https://www.sakaeminami-j.sapporo-c.ed.jp/>

3月号(2024.3.25)

「残りの中学校生活を全力で楽しんでください」

校長 小林 直人

先週行われた卒業式では、169名の卒業生が義務教育最後の日を立派な姿で迎え、本校を巣立っていきました。卒業生代表の石田さんは皆さんに向けて次のように話しています。「次に学校をつくっていくのは在校生の皆さんです。きっと卒業までまだまだ時間があると思っていることでしょう。ですが、中学校の3年間は驚くほどあっという間です。毎日の一つ一つの出来事を記憶に残し、残りの中学校生活を全力で楽しんでください。」

毎年、授業の中で「3年生の皆さんが後輩に伝えたいこと」を自由に書いてもらいますが、特に今年卒業生の記述に多かったのがこの言葉、「中学校生活を全力で楽しんで!」でした。

「素敵なところがいっぱいある栄南をこれからも受け継いでいってほしい。中学校生活を全力で楽しんで!」

「自分を信じて、あきらめないことが大切。お互いのいいところを認め合い、学校生活を楽しんでください」

「受験勉強に限らず、つらい時でも笑顔でいたら必ずいいことや楽しいことがまわりで起きてくる。何事にも全力で楽しもう!」

「この学校は優しい人が多いので、明るい雰囲気やみんなで協力して頑張ることを大切にしてほしい。学校行事など中学生のうちにはしかできないことを全力で楽しんで!」

参考ですが、卒業生に「3年生のいいところは?」というアンケートをとったところ、最も多かった答えが「明るく元気、笑顔がたくさん」という答えで、実は昨年度の卒業生も同じ結果でした。

卒業式の中で、在校生代表の佐藤さんは「今まで私たち在校生は、先輩方の大きい背中を追いかけることで精いっぱいでしたが、これからは私たちがその背中を後輩に見せていきます。どの思い出にも、頼もしく輝いている先輩方と過ごした時間は私たちの宝物です。先輩方から受け継いだタスキをかけ、次の代へと確実につなげていきます」と決意を語ってくれました。

皆さんが先輩方から受け継いだ「タスキ」とは何だと思えますか。次の代へとつなげていきたいこととはどんなことでしょうか。皆さんが後輩たちに見せたい背中とは、どのような姿でしょうか。

栄南中のことを何も知らない新生が入学します。新生は皆さんの姿を見て「栄南中のよき伝統」を学ぶこととなります。みんなで一つのものを作り上げることの難しさや、仲間と納得できるものを作ったときの達成感、「全力でやれば楽しい。全力でやってよかった」という満足感や、自分一人だけではできないことが仲間と協力すればできるようになることなど、実際に経験しないと分からないことをぜひ、新生に教えてほしいと思います。「教える」と言っても、決して難しいことではありません。皆さんが、今年と同じように、しっかりした気持ちをもって全力で行事に取り組み、楽しんでる姿を見せてくれればいいのです。新生は皆さんの姿を見ることで、大切なことを学び、様々なことを感じてくれるはずで。

4月から、また新しい学級で学校生活が始まります。環境の変化は皆さん自身が成長できる大きなチャンスでもあります。新たな気持ちで、ぜひ頑張ってください。

「残りの中学校生活を全力で楽しんで」ほしいと思います。

～修了式・校長講話より～

新年度の始業式は4月8日(月)です

登校⇒8:30 下校⇒12:25 ◎標準服登校です。

《始業式の日持ち物》かばん(教科書が配付されます)・筆記用具

お世話になりました!

小林直人校長先生【北野中学校へ】

2年間という短い期間でしたが、保護者や地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

コロナによる影響が残る状況の中でも、本校の教育活動に対してたくさんのご支援をいただいたことに深く感謝いたします。(役職定年)

柏たまき先生【札苗北中学校へ】

1年間という短い期間でしたが、素直で一生懸命に取り組む生徒の皆さんと素敵な時間を過ごさせていただきました。これも保護者の皆さんや先生方の教育のたまものだと思っております。これからもさらに魅力的な学校になってくれることを心から願っております。ありがとうございました。

須河一美先生【ご退職】

もう少し仕事を続けたかったのですが、家庭の事情で退職することになりました。

栄南中学校が6校目の着任校でしたが、可愛い生徒たちに困まれ、楽しい日々を過ごすことができました。保護者の皆様方にも大変お世話になりました。

栄南中学校が最後に本当良かったと思っています。ありがとうございました。

秋元英二先生【稲陵中学校へ】

1年間という短い期間でしたが、とても充実した1年間を過ごすことができました。社会科の楽しさが少しでも伝えられることができたら幸いです。生徒のみなさん、保護者の方々、同僚職員に支えられ本当にありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。今後の生徒の皆さんのご活躍を心より願っています。

山内一憲先生【伏見中学校へ】

先日無事に3度目の卒業担任として卒業式を終えることができたことを嬉しく思います。5年前に作成した山台をリニューアルして臨んだ卒業式は私にとってもかけがえのないものになりました。また、地域の皆様には、赴任してから9年間本当にお世話になりました。この度、伏見中学校への転勤が決まり、決意を新たにしています。またどこかでお会いしましょう。ありがとうございました。

田村洋司先生【北白石中学校へ】

栄南中学校には、2年間お世話になりました。生徒のみなさんの丁寧で明るいあいさつや、行事や部活動などで活躍する姿に、元気づけられていました。素直で明るく元気な生徒たちと、温かい心で協力的な保護者の皆様のおかげで、充実した日々を送ることができました。感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

青島綾加先生【太平中学校へ】

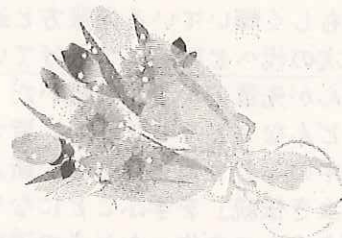
生徒のみなさんと共に自分自身も成長することができた7年間でした。養護教諭としてだけでなく、ぶら部顧問としても生徒のみなさんと一緒に活動できたことは大切な思い出です。学校を離れることにはなりますが、これからもみなさんが元気で過ごせるように願っています。7年間、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

森祐太先生【星友館中学校へ】

生徒の皆さんと一緒に過ごせたことが私にとってなにより大きな思い出となりました。皆さんが成長していく姿を見届けられないのはとても残念ですが、遠くから見守っています。新たな出会いを大切に、多くの経験をしてください。また、保護者の皆様にはいつも温かい言葉をかけていただき、大変感謝しております。1年間ありがとうございました。

能登谷真由美先生【任期満了】

1年間の短い期間でしたが、10年ぶりの中学校勤務で、当初はいろいろと戸惑う事も多々ありましたが、先生方のご協力のおかげで大変助かりました。生徒のみなさんとは、給食を通して関わられたことに感謝しております。毎日元気な挨拶に、私も「今日一日頑張るぞ」とエネルギーをもらっていました。栄南中では、楽しい思い出ばかりです。ありがとうございました。



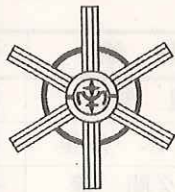
連絡

- ・急な転出が決まった場合は手続きが必要ですので、至急中学校までご連絡ください。
- ・春季休業中は勤務時間終了時刻に合わせ、16時45分に電話対応を終了する場合があります。

【4月の行事予定】

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1 入学受付	2 第48回入学式 PTA入会式 完全下校	3 特別時間割開始 学級写真撮影 2年・3年学年集会	4 ワーク販売 1年学年集会 局会説明会	5 2・3年学力テスト 3年全国学力学習状況調査 (質問紙)
8 着任式・始業式 完全下校	9 前期認証集会 全協・委員会・局会	10 すぐるテスト配信	11 3年全国学力学習状況調査 (国語・数学)	12 職員会議 校内研修会 完全下校、部活動休養日
15 A時間割開始、新入生歓迎集会 ブレ全協・委員会・局会 部活動見学(~23日)	16 1年アルトリコーダー販売 全協・議長講習会	17 身体測定・視力検査 1年聴力検査 体文集会	18 授業公開、学年学級PTA PTA/体文振総会 7組入学を祝う会	19 7組校外学習① 生徒総会議案審議
22	23	24	25	26
29 昭和の日	30 1年心臓検診			

1年間、学校の様子をお伝えしてきました。ご愛読いただき、ありがとうございました。



令和6(2024)年度

栄南中だより

札幌市立栄南中学校

<https://www.sakaeminami-j.sapporo-c.ed.jp/>

進級記念号(2024.04.08)

新年度・新学期を迎えるにあたって

校長 井上 友美

新しい船に乗って、大海原に出航する気持ちで4月を迎えました。ドキドキワクワクしています。本校に異動するにあたって、3月に幾度か本校を訪れました。廊下には素敵な装飾があり、だれもいないのに「いらっしゃいませ」の声が聞こえる気がしました。教頭先生に校舎を案内していただき、訪れた体育館では熱心に部活動に励む様子を見ることができました。爽やかな挨拶の声を聞き、とても嬉しくなりました。

令和5年度修了式で前任の校長先生が皆さんに「残りの中学校生活を全力で楽しんで」と伝えたことを覚えていますか。3月の卒業式では在校生代表が「先輩方から受け継いだタスキをかけ、次の代へと確実につなげていきます」と語ったと聞いております。春休み中のわずかな期間ではありますが、部活動を頑張る皆さんの姿や新年度に向けて精力的に準備を進める職員室の活気ある雰囲気から、「全力で」「タスキをつなぐ」心意気を強く感じております。

本日から新しい学年がスタートします。今日は、学校における元旦でもあります。

新年度、おめでとうございます。

進級するにあたって、新しい目標はありますか。これだけは、チャレンジしようということがありますか。ぜひ、新たな自分を発見するため、色々なことにチャレンジしてほしいと思っています。何かをして変わった人はいても、何もしないで変わった人を私は見たことがありません。いっぱいチャレンジして、成功して「自信」がついて、失敗もあってその時「悔しい」と思って、またチャレンジする。そんな繰り返しで、人は成長していくのかなと思います。特に小学校や中学校でのその繰り返しがこれからの人生の土台となると思います。皆さんの「勇気ある挑戦や失敗」を温かく見守り、応援していきます。

本校の学校目標は、「常に、よりよきものを自ら生み出そうとする生徒」です。

昨年度より今年度、先月より今月、先週より今週、昨日より今日、今日より明日、さっきより今、「よりよきものを自ら生み出そうとする生徒＝よりよき自分に成長しようとする生徒」であってほしいと思います。今に全力で挑戦、そして「中学校生活を全力で楽しむ令和6年度」となることを強く願っています。

明日は入学式です。新入生を皆であたたかく迎えたいと思います。先輩としての素敵な姿を新入生に見せてください。

ドキドキワクワクは「不安もあるけれど楽しみ！頑張ろう！！」という気持ちです。今の気持ちを大切に令和6年度、皆でよりよき栄南中学校をつくっていきましょう。

よろしく願います。

(始業式・校長講話より)

令和6年度 栄南中学校 教職員（学年は2・3年のみ紹介）

校長 井上 友美
 教頭 中川 幸治
 主幹教諭 伊藤 拓
 養護教諭 高橋 真弓
 栄養教諭 荒井 さやか
 事務職員 川嶋 綾子
 校務助手 品田 真由美
 用務員 貝澤 李樹
 スクールカウンセラー 仲野 芳恵
 学校司書 澤田 露子
 A L T ブリッタニー・ロバーツ

2年	教諭	教科	3年	教諭	教科
1組	刀根 真由美	英語	1組	競 啓太	数学
2組	堀 峻介	数学	2組	佐々木 汐里	英語
3組	横山 将史	理科	3組	佐久間 遼	保体
4組	酒井 亜希	国語	4組	佐藤 寿彦	理科
5組	久保 賢事	社会	5組	佐藤 亜美	音楽
7組	北本 美千代	特支	7組	北本 美千代	特支
8組	荻野 咲紀	特支	所属	伊藤 拓	保体
所属	工藤 昭彦	理科		高野 透	理科
	工藤 賢太	社会		石川 祥子	国語
	今野 里香	家庭		後藤 一真	英語
通級	盛川 貴洋・影谷 久仁子（特別支援）				

お世話になります！
 よろしくお願ひいたします！

井上 友美 校長先生【山鼻中より】

「栄」は「木に花が咲き誇る様子」「さかえる」、「南」は「皆見」「あたたかい方向」。パワースポットのような名前の場所で、ともに学び、挑戦と成長の時を刻めることをとても嬉しく思います。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

武田 敏明 先生（国語科）【向陵中より】

篠路西中学校で退職し、向陵中学校で約三年間時間講師をしていました。栄南中学校では一年生の国語を担当します。国語の教科が好きになってもらえるよう頑張りますので、よろしくお願ひいたします。

工藤 賢太 先生（社会科）【札幌中より】

同じ東区の札幌中学校から参りました。工藤賢太と申します。今年で27歳になります。猫・釣り・サッカー・温泉が好きです。栄南中学校での勤務をとても楽しみにしていました。どうぞよろしくお願ひいたします。

佐藤 匠 先生（技術科）【あいの里西小より】

あいの里西小学校から来ました、佐藤匠といいます。私はこれまで小学校の先生として働いてきました。今回、ご縁があって中学校の先生になりました。栄南中の元気な皆さんと一緒に過ごすのが、とても楽しみです。よろしくお願ひいたします。

橘 昭敏 先生（英語科）【幌東中より】

白石区の幌東中学校から転勤して参りました。教科は英語です。栄南中学校の一員として、微力ながら、精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしくお願ひいたします。

梅田 尚帆斗 先生（特別支援）【伏見中より】

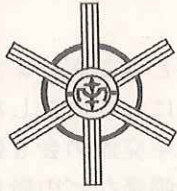
伏見中学校から来ました、梅田尚帆斗です。栄南中学校の皆さんは、とても元気良く挨拶をしてくれると聞き、楽しみにしていました。私としては2校目なので、期待と不安で一杯ですが、皆さんと楽しい日々を過ごせたらいいと思います。

高橋 真弓 先生（養護教諭）【屯田北中より】

入学・進級おめでとうございます。新たな気持ちで出発しようと思っている生徒のみなさんと同じように、私も、4月からこの栄南中学校で新たに出発します。保健室からみなさんの学校生活を見守りたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

荒井 さやか 先生（栄養教諭）【北九条小より】

たくさんの生徒との出会いを楽しみに、北九条小学校からまいりました。「おいしい給食」「学べる給食」を通して、保護者の皆様と共に栄南中学校の生徒たちの「食」をサポートしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。



令和6(2024)年度

栄南中だより

札幌市立栄南中学校

<https://www.sakaeminami-j.sapporo-c.ed.jp/>

入学記念号(2024.4.9)

新入生のみなさん ようこそ 栄南中学校へ

ご入学おめでとうございます。

中学校の三年間は、皆さんが心身ともに大きく変化し、成長する三年間です。中学校では、小学校で学んできた基礎をもとに、自分の進む道を、自分で考え、自分の手で切り拓いていかなければなりません。

三年間の中学校生活をスタートさせる新入生の皆さんに、常に意識してほしいことを三点お伝えします。

一つ目は、「友達、仲間を大切にすること」です。

「自分を大切にするように、相手も大切に。」ということです。中学校では、授業や行事で仲間と協力して多くのものをつくり上げていきます。その過程において、仲間とぶつかり、けんかをすることもあると思います。でも、違う意見や考えがあるのは当然ですし、物事が全て自分の思い通りに進むということはありません。その時に大切なことは、「相手を尊重する気持ち」をもてるかどうかです。これは、私達大人にとっても難しいことであると思っています。自分はもちろんのこと、全ての人に、その人だけの優れたところや輝いているところがあります。それを発見し、そこから学ぼうとする人であってほしいと思います。互いの良さ・弱さを認め合い、仲間として支え合い、高め合っていく中で、生涯にわたる友情が育まれることを願っています。友達は宝物です。

二つ目は、「やればできる」という自信をつけてほしいです。そのためには学習・行事・部活動・委員会などに積極的に参加することです。難しい問題の解決に向かって、はじめて、様々な工夫や根気が養われます。解決に向かう中で本当の達成感を味わい、自分の良さを見つけることができ、生きていく上での自信につながります。困難無きところに進歩無しです。どんどん挑戦することが大切です。たくさん挑戦した人がたくさん失敗のうえに、成功を手にかけています。

三つめは「言葉を大切にすること」です。

人間の体は何でできているか、それは生まれてきてから今日まで食べてきたものでできています。では、人間の心は？「聞いた言葉」でできているそうです。そして自分の未来は「自分が発する言葉」でつくっていくことができるそうです。自分が発した言葉を自分が一番聞いています。悪口や不平不満のマイナス言葉ではなく、「やればできる」「頑張ろう」を声にして、前向きに挑戦です。未来は自分の口から出る言葉でつくられます。

本校の学校目標は「常に、よりよきものを自ら生み出そうとする生徒」です。昨年度より今年度、先月より今月、先週より今週、昨日より今日、今日より明日、「よりよきものを自ら生み出そう＝よりよき自分に成長しよう」と思って、自分のやるべきこと、やりたいことに取り組んでほしいです。

保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。本校教職員一同、全力でお子様の健全な成長のために、尽力して参ります。中学生は、心身が急激に発達し、思春期へと移行する多感な時期に入ります。成長が早く、楽しみの多い反面、心配になることもあろうかと思いますが、しっかりと向き合っ、お子様の悩みや喜びを共有しながら、温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん、二・三年生の先輩たちは、皆さんが学校に早く慣れ、充実した生活が送れるように様々な準備をしています。素敵な先輩を見習って、楽しく充実した中学校生活を送ってほしいと思います。応援しています。二・三年生の皆さん、よろしくお祈いします。

新入生の皆さんは、今日のこの時から、自分の手で、自分の足で、自分の心で、この栄南中学校で思い出をいっぱい刻んでいきましょう。皆さんの今後の活躍と心身の健康を心より願っています。

(入学式・式辞より) 校長 井上 友美

歓迎の言葉

暖かい春の日差しが心地よい季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。第四十八期生徒会副会長の高橋 紬です。私達在校生一同、皆さんの入学をととても楽しみにしていました。

ところで皆さんは、中学校にどのようなイメージを持っていましたか。先輩との小中交流の会を体験して、皆さんは中学校のイメージはどのように変わったのでしょうか。例えば、学校祭や合唱祭などの新たな行事のイメージはできましたか。また、小学校の時にはなかった部活動のイメージはありますか？行事は昨年度から新型コロナウイルスが5類に移行したことを受けてコロナウイルスまん延防止前と同様に行うことができ、今日のような儀式では合唱を学年全員でできるようになりました。

学校祭では、各学年ごとにステージ発表・天井装飾制作・玄関装飾制作の3つのグループに分かれたり、吹奏楽部の演奏や生徒会の企画、美術部の作品の展示が行われました。

合唱祭は、昨年四年ぶりに行われ、各学級で決めた曲を合唱しました。学級一同練習に励むので学級の団結力が高まります。また、私達は部活動を通して、自分の得意なことや興味のあることを伸ばし、それぞれの大会やコンクールに向けて日々努力しています。

一方で、定期テストや勉強についての不安なイメージは変化してきましたか。定期テストは小学校では経験したことがなく勉強方法に困るかもしれません。しかし、皆さん、大丈夫です。皆さんの横には同じ気持ちをかかえている新たな仲間がいます。また、同じことを乗り越えてきた私達在校生もいます。困ったことがあれば遠慮なく仲間を、そして先輩を、そしてたくさんの先生方を頼ってください。きっと力になってくれます。

新入生の皆さん、授業は学習の基本です。各教科集中して取り組み、行事は全力で楽しみ、メリハリのある学校生活を送ってください。皆さんの栄南中学校での日々の積み重ねが実りあるものになることを願ってお祝いの挨拶とさせていただきます。

在校生代表 高橋 紬

決意の言葉

私たち新入生は、今日から栄南中学校の一員となります。慣れない制服を着て、新たな通学路を歩いて、中学生になったという実感が湧いてきました。

今までと違う環境で、新しい友達との出会い、初めての部活動や新しい教科の勉強、自分たちのアイディアで作り上げる、学校祭などの行事、楽しみなことがたくさんあります。反面、新しい環境で、友人関係が上手く築けるのか、難しくなる勉強についていけるのかなど、不安も同じくらいあります。そして、この三年間で卒業後の進路も決めなければなりません。学力だけでなく、自分が興味のあること、何をしたいのかもじっくり考え行動し、後悔のない三年間にします。何に対しても目標を立て、努力を忘れず、一つ一つのこと一生懸命に励み、学業と部活動を両立できるように努めていきます。

その中で時には悩み、立ち止まり、迷惑をかけてしまうこともあるかもしれません。そんな時は、先輩方、先生方、どうか力を貸してください。保護者の皆様にも、たくさん心配をかけてしまうかもしれませんが、大切な仲間と共に助け合い、乗り越えられるよう頑張りますので、これからも温かく見守ってくださると嬉しいです。

最後になりますが先輩方、先生方、お忙しい中足を運んでくださったご来賓の皆様、保護者の皆様、本日は私たちのために、このような素敵な入学式を開いてくださり、本当にありがとうございます。

新入生代表 島口 莉乙

月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日	
1	入学受付	2		3		4		5	
8	着任式 始業式	9	入学式 PTA入会式	10	学級写真撮影 3学年集会	11	ワーク販売 1,2学年集会 局会説明会	12	2,3年学力テスト 3年質問紙調査
15	新入生歓迎集会 部活動見学① A時間割開始	16	前期認証集会 全協・委・局会 部活動見学②	17	すぐるテスト配信 1年リコーダー販売 部活動見学③	18	3年全国学力 学習状況調査 部活動見学④	19	職員会議 完全下校 部活動休養日
22	部活動見学⑤	23	全協・議長講習会 部活動見学⑥	24	身体測定 視力検査 1年聴力検査 体文集会	25	授業公開 学年学級PTA PTA・体文総会 7組入学を祝う会	26	7組校外学習
29	昭和の日	30	1年心臓検診						